



2021年3月12日

各位

会社名 株式会社高松コンストラクショングループ  
代表者名 代表取締役社長 吉武 宣彦  
(コード番号 1762 東証第一部)  
問合せ先 常務執行役員グループ統括本部長 島林 正弘  
(TEL 03-3455-8108)

## 普通社債(第1回債)及びサステナビリティ・リンク・グリーンボンド(第2回債) 発行条件決定のお知らせ

当社は、本日、普通社債及びサステナビリティ・リンク・グリーンボンド<sup>※1※2※3</sup> (以下、「本サステナビリティ・リンク・グリーンボンド」)の発行条件を、下記の通り決定しました。また、条件決定に伴い、後述の投資家より投資表明を頂いておりますことをお知らせいたします。

記

### 1. 第1回、第2回無担保社債(社債間限定同順位特約付)に関する概要

回号	第1回債	第2回債 (サステナビリティ・リンク・グリーンボンド)
発行年限	10年	5年
発行額	50億円	100億円
利率	0.560%	0.290%
発行条件と連動するSPTs <sup>※4</sup>	—	グループ会社全体のSDGs貢献売上高が将来(2022/3期以降)4か年度累計で3,911億円以上
プレミアム	—	SPTsが未達の場合は社債の金額100円につき0.5円のプレミアムを支払う。
各社債の金額	1億円	
発行価額	各社債の金額100円につき100円	
条件決定日	2021年3月12日	
発行日	2021年3月19日	
償還日	2031年3月19日	2026年3月19日
取得格付	A- (株式会社日本格付研究所)	
引受会社	大和証券株式会社(事務)、みずほ証券株式会社	
Sustainability-Linked Bond Structuring Agent <sup>※5</sup> / Green Bond Structuring Agent <sup>※6</sup>	—	大和証券株式会社

(\*1) サステナビリティ・リンク・ボンド (SLB)

SLB とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESG の目標を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことを指す。したがって、調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定される必要はない。SLB は、発行体があらかじめ定めた重要な評価指標 (KPI) と SPTs によって評価される。KPI に関して達成すべき目標数値として SPT が設定され、KPI が SPT を達成したかどうかによって、債券の条件が変化することで、発行体に SPTs 達成に向けた動機付けを与える債券。

(\*2) グリーンボンド

国際資本市場協会 (ICMA) が定めるグリーンボンド原則及び環境省グリーンボンドガイドライン 2020 年版に適合しており、環境問題の解決に資する事業＝「グリーンプロジェクト」に用途を限定して資金を調達するために発行する債券。

(\*3) サステナビリティ・リンク・グリーンボンド

調達した資金を全額グリーンプロジェクトに充当するサステナビリティ・リンク・ボンドのこと。

(\*4) サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPTs)

サステナビリティ・リンク・ボンドの発行条件を決定する発行体の経営戦略に基づく目標。

(\*5) Sustainability-Linked Bond Structuring Agent

サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワークの策定及びセカンドパーティオピニオンの取得に関する助言などを通じて、サステナビリティ・リンク・ボンドの発行支援を行う者。

(\*6) Green Bond Structuring Agent

グリーンボンド・フレームワークの策定及びセカンドパーティオピニオンの取得に関する助言などを通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。

## 2. サステナビリティ・リンク・グリーンボンドの概要

当社は、2021 年 1 月 21 日付で公表した「普通社債 (第 1 回債) 及びサステナビリティ・リンク・グリーンボンド (第 2 回債) の発行に関するお知らせ」のとおり、国内初となるサステナビリティ・リンク・グリーンボンドを発行いたします。現在、当社グループでは 2022 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画「Create!2022」に取り組んでおります。本中期経営計画は 5 つの「創る」を柱に策定し、5 つ目の柱である「経済・社会や環境への価値創造」では、SDGs に向けた取り組みが当社グループの長期的な成長のために不可欠であると位置づけております。

本サステナビリティ・リンク・グリーンボンドは、SDGs が掲げる 17 のゴールに対応した売上高 (SDGs 貢献売上高) を目標値に定め、調達資金を全額グリーンプロジェクト (環境性能に優れた新「TCG ビル」 (当社グループの東京拠点ビル) の建築) に充当する SDGs 債となります。

### 1) 資金用途について

サステナビリティ・リンク・グリーンボンドは、(仮称) TCG ビル新築工事の建築資金に充当します。詳細につきましては、2021 年 1 月 21 日公表の下記プレスリリースを合わせてご参照ください。

URL: [https://www.takamatsu-cg.co.jp/newstoppers/irnews/2021/post\\_37.html](https://www.takamatsu-cg.co.jp/newstoppers/irnews/2021/post_37.html)

### 2) 適合性評価について

第三者機関である株式会社日本格付研究所 (以下、「JCR」) より、下記の通り適合性に関するセカンドオピニオンを取得しております。

詳細については、本日 JCR から公表された下記レポートを合わせてご参照ください。

URL: <https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

### 3. サステナビリティ・リンク・グリーンボンドへの投資表明投資家

本日時点で、サステナビリティ・リンク・グリーンボンドへの投資を表明して頂いている投資家を掲載しております。

<投資表明投資家一覧> (50音順)

アセットマネジメント One 株式会社  
茨城県信用農業協同組合連合会  
株式会社七十七銀行  
株式会社富山銀行  
株式会社福井銀行  
川口信用金庫  
観音寺信用金庫  
巣鴨信用金庫  
関信用金庫  
セゾン自動車火災保険株式会社  
全東栄信用組合  
太陽生命保険株式会社  
高山信用金庫  
東京シティ信用金庫  
新潟県信用組合  
沼津信用金庫  
平塚信用金庫  
福泉信用組合  
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社  
結城信用金庫

以上